



富田 たく



です。

事務所 高円寺南3-30-12 電話 3314-5551 FAX 3318-1492
メール info@tomitaku.jp ツイッター http://twitter.com/tomita_taku
ホームページ http://www.tomitaku.jp

視覚障害者団体とJR駅ホームを現地調査

3人に2人がホーム転落を経験！！



↑ JR駅のホームで警告用の点字ブロックを確認。点が多すぎるブロックは逆に判別しにくいそうです。

危険箇所続々

- ◆ホームによって、点字ブロックの種類がバラバラでわかりづらい。
 - ◆ホームの床より低い位置に点字ブロックが埋め込まれている。
 - ◆転落防止のための内方線付きブロックが設置されていない。
 - ◆点字ブロックの上に柱があり、衝突の危険がある。
 - ◆ホーム先端に、点字ブロックもホーム柵も存在しない場所がある。
- etc

2月26日に全日本視覚障害者協議会（全視協）のみなさんと一緒に、杉並区内のJR中央線駅の視察を行いました。

全視協の調査で全盲者の3人に2人がホームからの転落経験があることがわかっております。健常者にとってJRなどの鉄道を使うことは当たり前の移動手段ですが、視覚障害者の方々にとっては命がけのこと。

今回はJR高円寺駅と荻窪駅のホームを中心に、主に点字ブロックの設置状況、ホーム柵、柱の位置などの確認を目的に調査を行いました。

全視協の方々からアドバイスをいただきながら、目の不自由な人の視点に立ってホームを調査してみると、同じ駅なのに点字ブロックの種類がちまちまであったり、点字ブロックの上に柱が設置されていたり、ホームの先端には点字ブロックもホーム柵も無い部分があったりと、様々な危険性を確認することが出来ました。

今回確認された危険な部分については、改めて全視協のみなさんと一緒に、JR東日本へ改善の申し入れを行う予定です。

視覚障害者のためのホーム整備が急務です。

全視協から現地調査に参加されたのは、区内でJRを利用されている全盲の方2名と、弱視の方1名。全盲のお二人はどちらもホームからの転落経験があり、それも1度だけでなく3度、4度と経験しているそうです。可動式のホーム柵の早急な設置や、転落時にすぐに対応できるよう駅員の増員が求められます。



荻窪駅では、ホームの端を知らせる警告の点字ブロックの上に柱がありました。これでは柱と衝突し怪我を負う危険性もあります。すでに柱自体にクッション製のマットが巻かれていたこと自体、過去に誰かがぶつかり怪我をした証拠。柱のぶつかった衝撃で方向がわからなくなり、ホームから転落する事例も後を絶たない事から柱自体の移動が必要です。



いきものデータ

- ◆和名： カワウ
- ◆学名： Phalacrocorax carbo
- ◆分類： 脊索動物門＞鳥綱＞ペリカン目
＞ウ科＞ウ属

カワウの止まり場にミシシippアカミミガメがお邪魔の図。→

で確認できます。→
 一時期は環境悪化で個体数が激減したそうですが、公害規制などで河川の水質が向上して餌となる魚類が増え、飛躍的に個体数が回復しました。逆に現在では増えすぎて漁業被害などのトラブルを起こしているそうです。
 人間の行いで数が激減したり、増えたら増えただで迷惑がられたりと、可哀そうな鳥なのです。



濟美公園近くの善福寺川で見つけたカワウです。身体全体は黒色で全長は約90cm、羽を広げると1m30cm以上になるけっこう大型な鳥。餌は水中の魚類などで、1分以上も潜っていられる潜水のプロです。潜った後に羽を乾かす止まり場が個体によって決まっているので、いつも同じ場所

杉並のいきもの紹介⑦ 善福寺川の「カワウ」

日本共産党発行



日刊●月2,900円
日曜版●月800円

僕らの活動の大事な情報源!!

【ご購入の連絡先】

◇日本共産党 富田たく 事務所

TEL : 3314-5551

FAX : 3318-1492



ツイッターはじめました。気になったことをつぶやきます。フォローしてくださいね。

http://twitter.com/tomita_taku